

目次

改版の序

初版のまえがき

校正の基礎

1 校正とはなにか

誤植への苦情 〆二五

誤植による被害 〆二六

校正の意味 〆二七

印刷までの手続き 〆三〇

2 校正者の心得

正しく、速く、美しく 〆三三

校正はだれにでもできるか 〆三三

校正者の適性 〆三三

校正者の衛生 〆三九

二五

三

3 原稿校正

読みにくい原稿〈三二〉

印刷原稿〈三三〉

速記、口述筆記の原稿〈三五〉

書き写し原稿〈三六〉

4 原稿の割付

校正者にも割付の知識が必要〈三六〉

■書籍標準字詰表〈三七〉

■雑誌標準字詰表〈三七〉

割付の基準〈三八〉

5 紙と判型

紙の種類と寸法〈三六〉

■主要用紙の規格寸法表〈三九〉

■洋紙仕上り寸法表〈四〇〉

■書籍・雑誌用紙所要連数求め方〈四〇〉

判型〈四二〉

6 印刷の方法

7 活字

三

三六

三八

四一

四二

活字の鑄造〈四三〉

和文活字の書体〈四三〉

和文活字の大きさ〈四三〉

■旧制号数活字の大きさの関係〈四三〉

■和文活字の書体〈四五〉

■号数活字・ポイント活字見本〈四六―四七〉

■号数・新号数活字の対比〈四八〉

■活字の基準寸法〈四九〉

■新聞活字の大きさ〈五〇―五一〉

欧文活字〈五三〉

欧文活字の書体〈五三〉

写真植字〈五五〉

■写真植字と活字の対照表〈五五〉

■写真植字書体例〈五六〉

写真植字の校正〈五七〉

文字に対する錯覚〈五八〉

8 込めもの・約ものその他

込めもの〈五九〉

約もの〈六〇〉

罫線・花形〈六一〉

■罫線・花形見本〈六一〉

五九

9 記号

句読点の変遷 〈六三〉

ふえてきた記号 〈六六〉

■ギリシャ文字 〈六七〉

■学術記号表 〈六八—六九〉

六三

10 文選・植字

四〇

校正の問題点

1 校正記号

四七

誤りの直し方 〈七四〉

脱字の入れ方 〈七五〉

消し方 〈七五〉

倒れた字の直し方 〈七六〉

直しそこなったとき 〈七六〉

不良字の取替え 〈七七〉

字体のまちがい 〈七八〉

促音・拗音の指定 〈七八〉

似ている別字 〈七八〉

2	字間・行間の決め方	八〇
	字間の決め方 (八〇)	
	■行間便覧 (八三)	
	行間の決め方 (八六)	
3	句読点の扱い方	八七
	句読点の重要性 (八七)	
	句読点などの訂正 (八八)	
	句読点使用上の注意 (八九)	
4	版面調整の仕方	九五
	原稿の過不足 (九五)	
	調整の仕方 (九七)	
	新人の原稿の場合 (九九)	
5	数字の扱い方	九
6	字下げの扱い方	一〇三
7	短歌・俳句の組み方	一〇五
8	欧字の誤植	一〇六

校正の進め方

- 1 初校 104
- 2 読み合せ 111
- 3 著者校正 116
- 4 校正進行表（台割表） 110
- 5 再校 113
- 6 校了 112
- 7 校正のよりどころ 114

■誤りやすい熟語抄△▽

漢字とかなの問題

- 1 「当用漢字」から「常用漢字」へ 115
- 2 「現代かなづかい」について 116
- 3 「送りがな」について 118

資料

- 人名用漢字別表 一四〇
- 「教育漢字」学年別配当表 一四六
- 現代かなづかいの要領 一四八
- 漢字記憶法抄 (二五二)
- 送り仮名の付け方 一五二
- これからの敬語 一六〇
- ローマ字のつづり方 一六六
- 外来語の表記 一六八
- 地名の呼び方と書き方 一七五
- 年号対照表 一八四
- 時刻と方位 一八六
- 常用漢字表 三三三